

## ITERO#2:この時代の務めを通して得られるこの時代の 全体的なビジョンに緊密に従う<sup>6/21-27</sup> OL Summary:

**I.**あらゆる時代には、その時代のビジョンがあります。私たちはこの時代の務めを通してこの時代の全体的なビジョンを持っているのですから、このビジョンにしたがって神に仕え、それに緊密に従う必要があります。**A.**今日私たちが一つ思いの中にあることができるのは、私たちがただ一つのビジョン、最新の、すべてを受け継いでいるビジョン、神の永遠のエコノミーのビジョンを持っているからです。**B.**聖書の支配するビジョンは、神の永遠のエコノミーの天のビジョンです。それは神の永遠の意図と彼の心の願いであって、ご自身を彼の神聖な三一において、御父として、御子の中で、その霊によって、彼の選ばれた人々の中へと分与して、彼らの命と性質にならせることです。それによって彼らは、彼であるのと同じになって彼の複製となり、一つの有機体、すなわち、新しい人としてのキリストのからだとなって、神の豊満、すなわち神の表現となり、それは新エルサレムにおいて究極的に完成します。**C.**「私[ワイトネス・リー兄弟]はニー兄弟に言いました、『ある日あなたがこの道を取らなくなったとしても、私は依然としてこの道を取ります。私はあなたのゆえにこの道を取っているではありません。また、あなたのゆえにこの道を去りません。私は、これが主の道であることを見たのです。私はビジョンを見たのです』」。**II.**主がご自身の現在の回復において私たちに与えてくださったビジョンは、神の永遠のエコノミーとその究極的完成(新エルサレムのビジョン)から成る、すべてを含むビジョンです。**A.**聖書が私たちに啓示している事の総合計は、新エルサレムです。新エルサレムは、聖書の啓示全体の総合的な構成体です。**B.**私たちが新エルサレムを生かし出すことは、私たちが新エルサレムとなることです。私たちが新エルサレムを成し遂げることは、流れ出る三一の神によって私たちが新エルサレムを建造することです。**C.**あらゆる地方召会は、新エルサレムの小型であるべきです。また、あらゆる信者は、「小さな新エルサレム」であるべきです。新エルサレムに属するものは何であれ、私たちの団体的な経験と個人的な経験の両方となるべきです。**D.**新エルサレムは、神の全体的な救い(その法理的な面と有機的な面を伴う)の具体化です/新エルサレム全体は、義の土台の上に建てられた命の事柄です。**E.**私たちが神の有機的な救いの各部分を経験するとき、一層一層と上って行って、ついには私たちは新エルサレムの中にある存在となります/私たちは神の性質にあずかることによって聖別されて、聖なる都と同じように聖となります/私たちは神の思いにあずかることによって更新されて、新しいエルサレムと同じように新しくなります。**III.**新エルサレムを生かし出し成し遂げることは、唯一の新約の務め(この時代の務め)の内在的な本質と総合計にしたがって、キリストのからだの実際と新しい復興とのために、神の全体的な救いを生かし出し成し遂げることです。**A.**その霊の務めは、新契約の務めであって、それは神聖で奥義的な「インク」としての生ける神の霊で私たちの心に書き記すことによって私たちが神化し、私たちがキリストの生ける手紙とします。これは神聖な啓示の最高峰です/私たちは新契約の奉仕者に構成されてキリストのからだを建造するため

に、コリント人への第二の手紙におけるすべてを含む霊のすべての面を経験しなければなりません。それは、油塗る霊、証印を押す霊、担保を入れる霊、書き記す霊、命を与える霊、務めをする霊、自由に作る霊、造り変える霊、伝達する霊です。**B.**義の務めは、キリストの務めです。キリストは私たちの客観的な義であって、私たちが義とします。またキリストは私たちの主観的な義であって、その霊の造り変える働きによって私たちの中へと「刺繍され」、私たちにキリストを生かし出させ、真に表現させます。これは神・人の生活です。**C.**和解の務めは、もろもろの罪の赦しを通して世の人をキリストへと和解させる務めであって、彼らに法理的な贖いを得させます。また信者たちをキリストへと和解させる務めであって、彼らを霊の中で、すなわち至聖所の中で生きる人とならせて、彼らに有機的な救いを得させます。これは、神にしたがって人々を牧養することです。**IV.**主の回復は、私たちが新約の唯一の務めへと連れ戻します。この務めには、以下の特徴があります。**A.**この務めは、神のエコノミーの健康な教えを供給します。そして、人の天然の熱心さや天然の愛情や天然の力や天然の能力という異火を伴った、異議を唱える者たちの異なる異様な教えに対して良い戦いを戦います。**B.**この務めは、金の燭台としての諸地方召会を生み出して、同じ本質、現れ、表現を持つイエスの証しとなさせます。またこの務めは、一つ霊によってキリストの一つからだを建造して、私たちすべてを成就し、三一の神の一の中へもたらします。**C.**この務めは、勝利者たちの用意を整えて、「王の住まい」としてのキリストご自身の中にある、また「象牙の宮殿」としての諸地方召会の中にあるキリストの花嫁、彼の「女王」とならせ、「王の宮殿」としての新エルサレムにおいて究極的に完成させます。この務めは、私たちがキリストへと婚約させ、キリストに対する単純さと純潔の中で、キリストへの私たちの愛をかき立てて、私たちが彼の女王となさせます。**D.**この務めは、私たちが強めて、栄光への道のり、すなわち十字架の道において、キリストの苦難の交わりの中でキリストに従わせ、命を現させ、増殖させます。**E.**この務めは、キリストを恵み、真理、命、その霊として私たちの中へと分与し、私たちにキリストを啓示し、私たちにキリストを享受させ、私たちが命において成長させます。それは私たちが命において救われて、命の中で王として支配するためです。**F.**この務めは、真理の言葉と言葉の中の水の洗いとを通して、私たちが聖別します。この務めはまた、霊なるキリストのはぐみ養う臨在をもって私たちが牧養します。**G.**この務めは、階級制度を取り壊し、また私たちがブレンディングして一とならせ、私たちすべてをキリストの兄弟たち、キリストの奴隷、キリストの肢体とならせて、実際においてキリストの一つからだとなさせます。この務めはまた、高き所を取り壊してキリストだけを高く上げ、キリストを召会のすべてとなさせます。**H.**この務めは、私たちすべてを機能させて、神の定められた道を実行させ、また私たちが導いて、小羊の行く所へはどこへでも従って行かせ、人の住む全地に王国の福音を宣べ伝えさせます。**I.**この務めは、私たちが新しい復興の中へもたらして、新エルサレムを生かし出させ、また新エルサレムを成し遂げさせ、神のエコノミーの最高峰であるキリストのからだの実際を得させます。

**CP1:キリストのからだのビジョンを見て、権威に服し、  
からだの感覚を持って建造のために機能する**

**OL1:**あらゆる時代には、その時代のビジョンがあります。私たちはこの時代の務めを通してこの時代の全体的なビジョンを持っているのですから、このビジョンにしたがって神に仕え、それに緊密に従う必要があります。

**OL2:**主がご自身の現在の回復において私たちに与えてくださったビジョンは、神の永遠のエコノミーとその究極的完成(新エルサレムのビジョン)から成る、すべてを含むビジョンです。使徒26:19 こういうわけで、アグリッパ王よ、私は天のビジョンに背[きませんでした]。エペソ1:17 どうか、私たちの主イエス・キリストの神、栄光の御父が、知恵と啓示の霊をあなたがたに与えて、あなたがたに彼を十分に認識させ[るように]。

啓22:1-2 また御使いは、水晶のように輝く命の水の川を私に見せた。それは神と小羊の御座から、大通りの中央を流れていた。その川のこちら側にも向こう側にも命の木があつて...

ダマスコへの途上でパウロはビジョンを見ました。主は彼に言われました、「サウロ、サウロ、なぜ私を迫害するのか?」(使徒9:4)。ここの「私」は団体の「私」です。それは主イエスと彼のすべての信者たちを含みます。「私」という言葉は小さい言葉ですが、それは大いなるビジョンを語っています。...パウロのビジョンは確かに深遠でした。ガラテヤ人への手紙の始まりで、彼は神の御子に言及しています。神の御子と言うとき、それは三一の神を含んでいることを、知らなければなりません。三一の神はパウロに啓示されました。そして、パウロは彼の一肢体となりました。すべての肢体はパウロと共に彼のからだとなるように構成され、拡大した「私」となるように、彼に結合されました。パウロが最初に見たビジョンはとても高く深遠でしたが、彼は直ちに務めについたのではありません。使徒行伝13章で、数人の預言者たち、教える者たちが、アンテオケで主に仕え、共に断食していました。その時、聖霊が言われました、「さあ、バルナバとサウロを私のために選び分け、私が彼らを召した働きに当たらせなさい」(2節)。その時になって初めて、パウロは以前受けたビジョンがはっきりしました。そして、彼は受けた務めを遂行するために、送り出されました。

バルナバとサウロの両方ともユダヤ人でしたが、異邦人世界に福音を宣べ伝えるために送り出されました。これは、小さなビジョンではありませんでした。ペテロが遣わされたのはただ、彼の都合の良いときに、異邦人と短時間の接触をするため、またその家を訪問するためでした。ここでパウロは重大な委託を受けました、「行きなさい。私はあなたを遠く異邦人に遣わす」(22:21)。これは、彼が異邦人世界の国々また町々へ行かなければならなかったことを意味します。

私たちは、この頭首権に服従するときはずっと、直ちに、神の豊富の満ち満ちたものが私たちの内側を流れることを感じます。これは、私たちの存在に対する命、命の供給、すべてとしての三一の神の流れです。私たちは内側でそのような流れを感じます。この流れは命の水として神と小羊の御座から来ます。

**適用:新人及び青少年・大学生編**

若者と新人の皆さんは、パウロを模範として、キリス

トのからだに関する天のビジョンを見てください。この宇宙的なからだのかしらは昇天のキリストであり、からだは地上の信者たちです。サウロが地上の信者を迫害していた時、天のかしらは反応しました。なぜなら、私たちの体の頭と肢体が一つであるように、キリストのからだのかしらとからだは一つであるからです。

からだのビジョンを実行するために、**①**十字架を経験し、自分をかしらとせず、キリストをかしらとする、**②**日常生活のすべての事で、かしらであるキリストの中へと成長する、**③**からだの感覚を持って、召会生活の中で相互に依存し合い、組み合わされ結合される、**④**からだの中でキリストを持って、愛の中で、キリストの建造のために機能することを実行してください。

キリストのからだの肢体として機能するために、あなたは必ず、上記**①**と**②**の経験、すなわち、「生きているのはもはや私ではありません。キリストが私の中に生きておられるのです」(ガラテヤ2:20)を実行する必要があります。なぜなら、あなたの古い人がキリストの肢体であるのではなく、あなたの新しい人がキリストの肢体であるからです。啓22:1 水晶のように輝く命の水の川を私に見せた。それは神と小羊の御座から、大通りの中央を流れていた。

また、かしらであるキリストの中へと成長する**①**と**②**の経験は、御座に服し、御座をあなたの中心に据えることと同じです。新エルサレムの中の命の水の川はどこからでも流れるのではなく、新エルサレムの中心である神と小羊の御座から流れ出ています。言い換えると、あなたがキリストをかしらとせず、御座に服さなければ、あなたの中に命の水の流れはありません。

**③**のからだの感覚を持つために、あなたは自分の感覚を十字架に付けなければなりません。あなたは自分の感覚とからだの感覚の両方を持つことはできません。体の肢体は他の肢体が必要であり、相互に依存しているように、他の聖徒たちに依存しなければなりません。

以下の証しは上記の**①**~**④**の経験を含んでいます。

**姉妹の証し:**私は以前、自分の負担に従って奉仕していました。召会の責任者の交わりを聞いても、特に気に留めることなく、自分に従って奉仕しました。しかしいくら頑張っても、残る実がほとんどありませんでした。前面の兄弟姉妹の助けにより、徐々にからだを認識するようになりました。そして、自分を下ろして、召会の責任者の負担に従って奉仕するようになりました。そうすると、そんなに力を費やさなくても、自然に多くの実を結ぶようになりました。年始の時、責任者の兄弟たちは、若者の就職、結婚について、神のエコノミーの路線に従って彼らを助ける必要があると交わりました。私はその負担に沿って、奉仕してきました。今年4組の若いカップルが結婚します。代理権威に服する時、命の水が流れ出ます。**祈り:**おお主イエスよ、からだのビジョンを見て、奉仕することができますように。命の水の川は新エルサレムの中心である神と小羊の御座から流れ出ています。キリストをかしらとせず、御座に服さないなら、命の水の流れはなく、自分が潤されることも人を供給することもできません。兄弟姉妹と組み合わされ、自分の感覚ではなく、からだの感覚を尊び、代理権威に服し、命の水の豊かな流れの中で建造のために機能します。

## CP2:救いの第二段階において、絶えず三一の神に 触れ、神の御子の信仰の中で生きる

**OL1:**新エルサレムを生かし出し成し遂げることは、唯一の新約の務め(この時代の務め)の内在的な本質と総合計にしたがって、キリストのからだの実際と新しい復興のために、神の全体的な救いを生かし出し成し遂げることです。**OL2:**その霊の務めは、新契約の務めであって、それは神聖で奥義的な「インク」としての生ける神の霊で私たちの心に書き記すことによって私たちを神化し、私たちをキリストの生ける手紙とします。これは神聖な啓示の最高峰です。**OL3:**義の務めは、キリストの務めです。キリストは私たちの客観的な義であって、私たちを義とします。またキリストは私たちの主観的な義であって、その霊の造り変える働きによって私たちの中へと「刺繍され」、私たちにキリストを生かし出させ、真に表現させます。これは神・人の生活です。

**ヨハネ3:15** それは、彼の中へと信じる者がすべて、永遠の命を持つためである。**ローマ8:30** そして神は...召した者たちを、さらに義とし、そして義とした者たちを、さらに栄光化されました。**啓21:11** それは神の栄光を持っていた。その光は最も尊い宝石のようであり、水晶のように透明な碧玉のようであった。**Ⅱコリント3:6** 神はまた私たちが新しい契約の奉仕者として、資格づけてくださいました。それは、文字ではなく、霊の奉仕者です。なぜなら、文字は人を殺しますが、その霊は人に命を与えるからです。**8-9** ましてその霊の務めは、栄光の中にないわけがありましょうか? 罪定めする務めに栄光があるなら、まして義とする務めは、なおさら栄光にあふれるのです。

まず、神・人として、私たちは神の命にあずかる神聖な権利を持っています。ヨハネ3:15は、主イエスの中へと信じる者がすべて永遠の命を持つと言っています。永遠の命は神聖な命、神の命です。...再生を通して、彼は彼の命を私たちの存在の中へと置き、分与しました。

神・人として、私たちはまた、神の性質にあずかる神聖な権利を持っています。エペソ1:4で...神がキリストの中で私たちを選ばれたのは、特別な目的—私たちが聖くするためであることを見ます。「聖く」は、聖別され、神へと分離されるだけでなく、あらゆる俗的なものと異なり、区別されることを意味します。

私たちは再生を通して神・人になったので、神の思いにあずかる権利を持っています。これは、私たち人が、神聖な思いを持つことができることを意味します。**ピリピ2:5**は、「キリスト・イエスの中にあつたこの思いを、あなたがたの内側でも思いとしなさい」と言います。

客観的な義は、私たちに与えられて私たちの義となる神の義としてのキリストです。...義としてのキリストは、この裁きを消し去ります。裁きは罪から来ますが、義は恵みから来ます。恵みもキリストです。それは私たちが享受する御子にある神です。客観的な義は恵みという結果になり、恵みは主観的な義という結果になります。最終的に、三つすべて(客観的な義、恵み、主観的な義)はキリストご自身です。客観的な義は私たちに与えられたキリストであり、恵みは私たちが享受するキリストであり、主観的な義は私たちから生かし出されたキリストです。

適用:ビジネスパーソン・大学院生編

Ⅰ—全集 1994-97 一巻下 p160-161 からの抜粋:

**ガラテヤ 2:20** 私はキリストと共に十字架につけられました。生きているのはもはや私ではありません。キリストが私の中に生きておられるのです。そして私は今、肉体の中で生きているその命を、私を愛し、私のためにご自身を捨ててくださった神の御子の信仰の中で生きるのです。

**信仰、神の御子の信仰の中で生きる:**初期の段階における初期の信仰は、神の言葉を聞くことを通してあなたにきました。しかし第二段階、キリストを生ける段階での信仰は、大部分、言葉を聞くことによって来るではありません。この段階での信仰は、あなたがキリストにある神と接触することによって、あなたの中に入ってきます。ですからあなたは絶えず三一の神と接触しなければなりません。絶えずあなたは御子と接触すべきです。そうすれば御父とその霊とも接触するでしょう。第二段階での信仰は、私たちが三一の神と接触することを通して私たちに来ます。それは単に言葉を聞くことではありません。

この段階で、信仰は建物の中の電流のように、増し加わってあなたの中へと入って来ます。あなたは、「流れ」があなたの中に進行していると告げることができます。あなたが、「おお主イエスよ」と言えば言うほど、ますます流れが進行します。あなたが祈れば祈るほど、ますます流れが進行します。こういうわけで、絶えず祈るように告げられているのです。この流れを止めるべきではありません。これは信仰の結び付ける段階です。私たちの内側にあるこの信仰は、キリストにある神ご自身です。

建物の中の電気は、建物を発電所と結び付けます。たとえ発電所が、数百マイル離れていたとしてもです。建物の中の電気はまた、すべての電灯を共に結び付けます。多くの電灯がありますが、ただ一つの電気です。そしてこの電気は結び付ける要因であり、すべての電灯と建物全体を発電所に結びつけます。あなたの経験を調べてください。もしあなたが一日祈らないなら、神聖な発電所から断ち切られると感じます。もしあなたが二日間祈らないなら、神から断ち切られるだけでなく、すべての聖徒からも断ち切られます。

**主が私たちの中で生きるので、生きる:**ヨハネ 14:19 で主は、「私が生きるので、あなたがたも生きようになる」と言われました。彼が単独で生きておられ、私たちも単独で生きているかのようです。しかし続く節は言います、「その日には、私が私の父の中におり、あなたがたが私の中におり、私があなたがたの中にいることを、あなたがたは知るであろう」(20節)。主は単独で生きておられるではありません。彼は私たちの中に生きておられ、私たちは彼の中に生きています。これは相互内在することです。私たちはここでも結び付けることを見ます。信仰は私たちが三一の神に結びつけます。

信者は三一の神と結び付き、神聖な電気の流れの中でのみ、主観的な義を生かし出すことができます。

**祈り:**おお主イエスよ、キリストのからだの実際と新しい復興のために、「客観的な義を受け、恵みを享受し、主観的な義を生かし出す」必要があります。生活の中でキリストを生かし出すために、「おお主イエスよ」と主の名を呼び、御言葉を、霊を活用して祈り読みして、霊である主に触れ、神聖な電流の流れを受けます。信仰によって三一の神と結び付き、神聖な電気の流れの中で、主観的な義を生かし出すことができますように。アーメン!

**CP3:**和解の務めは、神に従って人々を牧養することであり、信者たちを第二段階の和解にもたらし

**OL1:**和解の務めは、もろもろの罪の赦しを通して世の人をキリストへと和解させる務めであって、彼らに法理的な贖いを得させます。また信者たちをキリストへと和解させる務めであって、彼らを霊の中で、すなわち至聖所の中で生きる人とならせて、彼らに有機的な救いを得させます。これは、神にしたがって人々を牧養することです。IIコリント5:18 彼[神]はキリストを通して、私たちをご自身に和解させ、その和解の務めを、私たちに与えてくださいました。19... 和解の言を私たちに託されたのです。20 ですから、私たちはキリストのために大使であり、...私たちはキリストに代わって、あなたがたに懇願します。神に和解させられなさい。

IIコリント5:19では、神に和解させられるのは世の人です。20節では、それは信者たちです。彼らは、すでに神に和解させられています。さらに一層、神に和解させられるのです。...和解のこの二つの段階は、幕屋の二つの幕によって、はっきりと描写されています。第一の幕は、とばりと呼ばれています。罪人は、なだめの血による和解を通して、神にもたらされました。彼はこのとばりを通して、聖所に入っていました。これは和解の第一段階を予表します。しかし第二の幕が、至聖所の中におられる神から、依然として罪人を隔てていました。罪人が、至聖所の中の神にもたらされるためには、この幕が裂かれる必要がありました。これは和解の第二段階です。コリントの信者たちは、第一の幕を通過して、聖所に入り、神に和解させられました。ところが彼らは、依然として肉の中に生きていました。ですから彼らは、...至聖所に入って、彼らの霊の中で、神と共に生きる必要がありました。

**OL2:**この務めは、神のエコノミーの健康な教えを供給します。そして、人の天然の熱心さや天然の愛情や天然の力や天然の能力という異火を伴った、異議を唱える者たちの異なる異様な教えに対して良い戦いを戦います。IIコリント11:2 私は神のねたみをもって、あなたがたをねたんでいます。なぜなら、あなたがたを清純な処女としてキリストにささげるために、一人の夫に婚約させたからです。3 ところが、私が恐れるのは、蛇が悪巧みによってエバを欺いたように、あなたがたの思いが腐敗させられて、キリストに対する単純さと純潔を失いはしないかということです。

IIコリント11:2のパウロの言葉は、...深く私たちの心に触れ、主イエスに対する私たちの愛をかき立てます。...自然にあなたは言います、「おお、主イエスよ、愛する花婿よ、あなたを愛します。主よ、あなたの言葉、あなたの務め、あなたの回復を感謝します」。...真の務めは私たちの花婿である主イエスに対する愛をかき立てます。

誠実な霊をもって本物の福音と真のイエスを宣べ伝える時はいつでも、主イエスが人に供給されて、人は彼を高く評価し、彼を愛し、彼に従い、彼をあらゆるものとして受け取るでしょう。歴代、多くの人々が聖書から宣べ伝え、聖書を教えました。それにもかかわらず、彼らの宣べ伝えや教えは、信者たちを主イエス・キリストの尊いパーソンからそらせました。原則的に、そのような人たちは、創世記3章で蛇が取ったのと同じ方法で信者たちをそらすのです。

適用:奉仕者編

**キリストの大使:**召会の奉仕者は、パウロに倣って和解の務めを行ってください。そのためにあなたは先ず、キリストの大使となる必要があります。キリストの大使は、自分の考えに従って、自分の働きをするではありません。大使は遣わした人の考えを知り、それを伝え、実行します。キリストの大使になるために、あなたの天然の熱心さや天然の愛情や天然の力や天然の能力を十字架に付ける必要があります。

**和解の務め:**主イエスの御名の中で信じることは第一段階の和解です。救われた後、肉に従ってではなく、霊に従って生きることが、第二段階の和解です。神に従って牧養するとは、キリストの大使であるあなたが、六種類の新人たちを助けて、彼らが霊の中でキリストを生きるようにすることです。救われたすべての人は、「第二段階で神に和解させられる」必要があります。ローマ5:10 というのは、私たちが敵であった時に、神の御子の死を通して神に和解させられたからには、和解させられている今、さらにいっそう彼の命の中で救われるからです。

この第二段階の和解はまた、ローマ5:10の「和解させられている今、さらにいっそう彼の命の中で救われる」経験です。キリストの内住する命はあなたの個人主義、観念、頑固さ、腐敗、隠れた願望、天然の力、高ぶりなどから救われることが、第二段階の和解です。

あなたは、「主イエスよ、あなたを愛します」と何度も叫んでください。そうすると主は、「あなたはこれら以上に私を愛するか?」(ヨハネ21:15)とあなたに尋ねられるかもしれません。内住のキリストの牧養について、ヨハネ21:15のペテロを考察します。ヨハネ福音書ライフ・スタディp350-352の抜粋を読んで下さい。「主はどのようにして、ペテロの天然の強さを対処されたのでしょうか? 一時的に彼から手を引くことによってです。ヨハネ10:28で主は、『だれも私の手から、彼らを奪い去りたくない』と言われました。ペテロが主を裏切り、彼の面前で三度彼を否んだことは、主がしばらく彼から手を引かれたことを意味しました。主はペテロにこう言っておられるようでした、『ペテロよ、あなたはあまりにも自分に自信が過ぎる。あなたは、自分が立っているのは、私があなたを私の手の中につかんでいることにかかっていることを知らない。もし私があなたをつかんでいないなら、あなたが立つことができない。しばらく私は手を離して、あなたが立つことができるかどうか見てみよう』。そして主は少し身を引かれ、ペテロは倒れました。あなたは立つ力があると考えるはいけません。違います、見えない手が絶えず私たちを支えているのです。私は何年間も、そして今でさえ、多くの聖徒たちが私のために祈っている事実に感謝します。...私は立つ強さの源が私の中にはなく、彼の中にあることを知っています。...これは主の対処でした。』**祈り:**主イエスよ、キリストの大使になるために、自分の天然の熱心さ、天然の愛情、天然の力、天然の能力を十字架に付けます。そしてキリストの大使として、六種類の新人たちが、霊に従って生きることを助ける必要があります。キリストの内住する命は、個人主義、観念、頑固さ、腐敗、隠れた願望、天然の力、高ぶりなどから私を救います。内住のキリストの牧養を受け、また新人を助けることを学びます。